



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

山岳事故・遭難の増加と今後の課題

豊田哲也

昨年、山岳遭難は件数・遭難者数とも統計開始以来過去最多を記録しました。今年はさらに昨年を上回る勢いで増加しています。背景にはコロナ自粛の解除、アウトドアブームによる登山者の増加、安易な救助要請等が考えられます。特に富士山では安易な要請が多いようです。山に親しむ人が増えるのは喜ばしいことですが、事故が増える現状は憂慮すべきものがあります。関西支部でも救助要請に至らなかったものも含め、数件の事故が発生しています。

事故原因の第一は、「道迷い」ですが、特に低山では地図・磁石を持っていない、持っても使えない人が多く見受けられます。スマホのGPSアプリも機能を十分使いこなせていない人もいます。迷ったら分かる所まで来た道を引き返すのが原則。また地図と磁石で読図力や地形把握力を養う必要があります。最近の特徴として「疲労・病気」による行動不能が増えています。高齢登山者の増加と、コロナ下で体力が落ちたのを自覚せず、低下した体力に合わない無理な計画が原因と思われる。夏場の記録的な暑さも影響しているでしょう。疲労は全ての事故の元、「転倒・滑落」「道迷い」も疲れによる集中力の低下が遠因となります。登山はスポーツの中でも最

も過酷な運動の一つであり、体力トレーニングの必要性を感じます。「技量不足」「装備不足」による事故はネットの普及等により実力不相応の山へ安易に挑戦した結果と思われます。40代50代の単独行者に見受けられます。

山岳遭難を少しでも減らすには、

- 1、「登山で最も大事なことは事故なく無事に帰ってくる事」この考え方が大事です。
- 2、事故はいつでもどこでも誰にでも起こる。「自分は大丈夫だ」との思い込みを捨てる。
- 3、「登りたい山より登れる山へ」自分の実力(知識・技術・体力)に合った山へ登る。まずは己(の体力、技術、知識)を知る。そして対象となる山を知る。登りたければ必要な知識を習得し、トレーニングや経験を積んで、その山に相応しい力を付けてから登る。
- 4、「上り4、下り3、余力3」の無理のない計画を立てる。上りで力を使い果たさない。
- 5、計画段階でその山行で想定されるリスクとその軽減策、対処法を考え準備しておく、と言ったことが挙げられます。

また、転倒滑落については岩場歩きや急坂の下り等に慣れてないこと、未熟なことが考えられます。登山は歩

新年会のご案内

関西支部恒例の新年会を下記のとおり開催します。
新入会員・会友の歓迎会も兼ねます。

日時：2024年1月27日(土) 18時30分～

場所：大阪梅田「大東洋」電話06-6312-7525

会費：6,000円

参加申し込みは同封のハガキに63円切手を貼って
1月12日(金)迄にご投函ください。

連絡先：中久保忠伸 電話090-1449-3667

目次

山岳事故・遭難の増加と今後の課題	1
豊田哲也	1
令和5年10月1日 第31回藤木祭	2
寺田昭弘	2
二つのクラブで募集します 水谷 透	3
1 支部山行報告	4
2 クライミング・雪稜シリーズ	7
3 関西のアルプス踏査	7
4 山岳古道調査	9
5 ヒマラヤ登山塾	11
6 自然保護報告	12
スケッチ同好会	13
会務報告	14
山行委員会行事案内(1月～3月)	14
編集後記	18

くことが基本。一步一步が大事。どんなに疲れていてもいい加減に歩かない。一步を疎かにすることが疲労に繋がり、転倒滑落延いては死亡事故に繋がります。

関西支部としても登山教室や講習会で会員の知識、技術の向上を図っていますが、事故が起こらないようにするための安全管理、事故防止対策(例えばココヘリの活用、

スマホアプリ活用、ビパーク訓練等)や起こってからの組織対応(家族・関係者への連絡、マスコミ対応、現地対応)の明確化、事故の教訓ヒヤリハット等の会員へのフィードバック等にまだまだ不十分な点が感じられます。安全委員会を中心に今後検討していく必要があると思われます。

令和5年10月1日 第31回藤木祭

寺田昭弘

少し秋も感じられるようになってきた中、今年も藤木九三氏のレリーフが飾られる高座の滝の前にて、日本山岳会関西支部・大阪府山岳連盟・兵庫県山岳連盟共催での藤木祭が参加者や通られた登山者と共に盛大に開催されました。



豊田哲也さん

開催にあたり、兵庫県山岳連盟の古賀英年会長の挨拶の中で藤木九三氏の経歴の紹介がありました。時代と共によく知らないの方が多くなってきたのだらうと思います。続いて後援の芦屋市を代表して史上最年少市長となられた高島峻輔市

長よりご祝辞を頂きました。自身も大変山が好きとの言葉に多くの山屋の心を掴まれていました。

日本山岳会からは120周年記念事業の一つである『引き継がれる山岳祭』のプロジェクトリーダーを務める坂井広志氏より各地で行われている山岳祭紹介と日本山岳会として継承していくとの言葉がありました。

関西支部登山教室講師の豊田哲也氏『安全登山の勧め』の講演があり、現状遭難事故が全国的にもここ六甲山系でも同様に増加傾向にある事、特に単独行での重大事故案件が急増している中、講習会や山岳会等でしっかりとした指導を受けることの重要性や難易度の高いところへは複数名での山行の必要性を訴えられていました。また、会場の一部では遭難対策装備の展示もしました。

御親族挨拶として、九三氏ご子息高嶺氏の奥様桂子さんよりお礼のお言葉と文才九三氏の原点のお話をご紹介いただきました。また芦屋市とのつながりについても長



藤木桂子さん

年続けられてこられたこの祭典のおかげと話されました。

最後に日本山岳会関西支部水谷透支部長より閉会の挨拶があり、来年はRCC結成100周年にあたる年で皆様の協力とご理解のもと、記念事業を実施したい旨のお話をされ、お開

きとなりました。

今回開催にあたり、藤木九三レリーフの清掃を日本山岳会関西支部及び大阪府山岳連盟で行いました。岩肌に浮かぶレリーフとなり、御親族に喜んでいただくだけではなく、ロックガーデンに向かう登山者の目にも留まりやすくなりました。これからも定期的に清掃させて頂こうと思います。



藤木九三レリーフ

二つのクラブで募集します

水谷 透

現在、関西支部では山行委員会を中心に有志により支部山行を実施しております。3か月ごとに発行される「関西支部報」において案内を掲載しておりますが、そのためには半年前に計画を立てる必要があります。しかし、荒天や暖冬など半年前の計画通りには実施できないことも多々あります。また、参加者の人数やレベルが予想できないため計画そのものが難しい面もあります。

もう少し柔軟性を持って計画を立て易いように、メール等の連絡により山行を実施する二つのクラブを設けます。登山教室を終了した会員を対象としたオールラウン

ドクラブと、60歳未満の会員を対象としたユースクラブです。詳細については各々の担当者による案内をご覧ください。

また、山行だけでなく、両クラブ合同で気象や救急法、登山史などの机上講座も開きます。

参加を希望される方は、参加クラブ名を記入（両方参加も可）のうえ下記メールアドレスからお申し込みください。3月には顔合わせも兼ねた説明会を開く予定です。

申込先 kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

登山教室卒業生向け オールラウンドクラブ発足のこと

豊田哲也

1、設立趣旨

「自立した登山者」の育成を目的とする「登山教室」ですが、卒業後必ずしも自由に自分の行きたい所へ自分で計画を立てて安全に実行できるまでにはなっておらず、連れていってもらおう登山に留まっておられる方が多くいらっしゃるよう見受けられます。そうでない場合でも、せっかく学んだ雪山や、岩場、沢登りの知識を生かしさらに深める所まで行かず、近郊の日帰り登山に留まっておられる方も見受けられます。「登山教室だけではまだまだ自分の行きたい山のレベルに達していない」このような方のためにも、関西支部での登山教室卒業生の受け皿として、基礎的な登山教室では実施できなかった山小屋やテント泊等の宿泊を伴う山行を主として地域的にも山行形態においてもさらに幅広く、登山教室の一步上のオー

ルラウンドに山を楽しむ集まりを持ちたいと考えます。

2、対 象

登山教室で基礎的な読図や登山道のない山での歩き方等を学んだ初級終了以上の方を対象とします。

日本山岳会関西支部の正会員、準会員であることを条件とします。

3、山行内容

宿泊を伴う山行を主として日帰りでは無理だった遠隔地の山域迄活動を広げます。自主運営で、各自が自分の行きたい山を提案してメンバーを募る方向にしたいと考えますが、当面は登山教室講師陣を先導役として行く先を決めて行きたいと思います。休日が休めない方のため、平日に実施する山行等もあったら良いと考えてます。まずはメンバーを募り発足式を持ちたいと思います。

ユースクラブ

茂木完治

1、設立趣旨

関西支部は20代から90代まで幅広い年齢層の会員で構成されていますが、平均年齢は70歳を超えています。その中であって比較的経験の浅い若年層が目立ちにくくあります。若年層が自主的に活動できる場が必要であり、そのためにはよき指導者と仲間が必要です。その場として60歳未満の会員を対象としたクラブを作ります。

まずは自分のできることから始め、他支部のユースクラブとも交流を持って、グレードアップした山行を目指

します。

2、対 象

59歳以下の日本山岳会の正会員、準会員で関西支部所属に限ります。

3、クラブの活動

雪山、岩登り、沢登りなどヴァリエーションをも含む山行など。

当面は経験者が運営、山行をサポートします。

他支部ユースクラブとの交流。

支部山行報告

1. 支部山行報告

支部山行23-21 月例会(7月)
「焼岳」

宇都宮 浩

7月15日(土) 曇

梅田を車で上高地へ。日本山岳会登山研修所に宿泊。

コロナ前に北九州山岳会で北穂高岳目指して涸沢小屋へ。横尾山荘からアイゼンの雪道。天候は雨、雪崩で北穂高登れず、景色も見れずでした。今回は雨対策を万全に、登山靴も新調してロングでも歩きやすい。

16日(日) 曇後晴



焼岳山頂直下にて 写真：宇都宮 浩

霧でガスもかかり涼しい。火山だが緑が多くて森林浴をしながら気持ち良く登って行く。急になると、区切りの良いところで休憩しながら新中尾峠を目指す。渋滞しているハシゴや焼岳小屋近くでも休憩。行動食のカステラを食べる程度で次の中尾峠へ。ここからは岩場の急斜面の尾根だが、相変わらずのガスで景色が見えない。天気予報は昼から回復だが、夕方は雨予報。予定通りのペースだが、焼岳も上高地も見えない。少し待つと雲も流れて晴れ間が出て来た。12時、焼岳山頂手前で休憩。上高地が見えたが山は見えない。山頂に行って休憩。見えた焼岳だ。噴火口も池も見えた。やがて雲が出て来て中の湯を目指して下山。下りも岩場が続き急だった。今年始め病気で入院後、山岳古道調査程度の山行で不安もあったが、さすがに後半の下り1100mは足にきた。無事に下山。上高地登山研修所へ。

17日(月) 晴

河童橋から穂高の山並みと焼岳が見える。お土産を買い平湯温泉から新穂高ロープウェイへ。西穂高口駅から槍ヶ岳に笠ヶ岳も綺麗に見えた。(当初予定の鹿島槍ヶ岳を変更しました)。

【コースタイム】

登山研究所6:50～峠沢7:50～ハシゴ9:30～焼岳小屋10:10～焼岳12:40～広場14:45～新中ノ湯登山口16:20～中ノ湯バス停17:35

【参加者】

水谷 透、深澤優子、宇都宮 浩

計3名

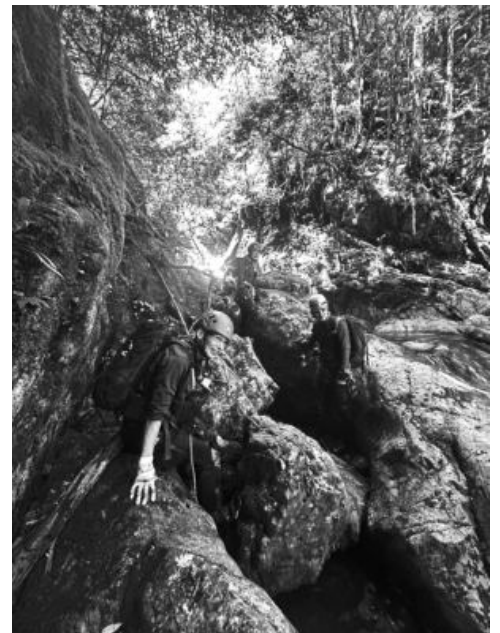
支部山行23-22 沢登り例会

「台高山脈・本沢川支流黒倉又谷」

岡谷雄一郎

7月17日(月) 晴後曇

黒倉又谷は、大台ヶ原ドライブウェイの北にある大和岳北面を源流とする本沢川の支流であり、出合から山頂まで詰めると約1000mの高低差がある谷である。自身はじめての台高の沢であり不安とワクワク感が入り混じる中、早々と待合の場所へ到着。筏場に車をおいて準備をしていざ出発、白倉又谷に架かる橋を渡り30分程歩くと黒倉又谷出合である。最初の斜滝3mは泳いで突破、次はスラブ状の15m滝、ここの正面突破は難しく、左の岩溝の上から豊田さんがきわどいバランスで突破してみんなを引き上げる。いやはやスケール感が今までの六甲の沢とは違いちよっとビビりながらついていくのが必死。さらにその上は左から強引に登ると上流には3～4mの滝が連続して深い釜を形成している。左岸に上がり休息してから巻道を進み、谷におり



黒倉又谷にて 写真：岡谷雄一郎

ると小滝と谷をうめつくす美しいナメとなった。その後もいくつかの滝は巻いたものの、おおむね谷沿いに進む。ゴーロ帯をすぎると植林小屋跡といわれる出合の下流に到着する。ここからは約1時間30分の杣道を下山した。

【コースタイム】

筏場8:30～出合9:00～ゴルジュ帯10:10～植林小屋跡14:00～登山道15:40～筏場16:00

【参加者】

中久保忠伸、豊田哲也、小黒節郎、立野里織、岡谷雄一郎 計5名

支部山行23-24 川の渡り方講習会
「安全な川の渡り方」

坂本明子

7月17日(月) 晴

清滝川の夫婦橋の下にて講習が始まる。まず運動靴で川に入り歩いてみる。当たり前だがツルツル滑りとても危なく前に進めない。次に運動靴の上から靴下を穿いて試してみると驚くほどに全然滑らない。



チロリアンブリッジ 写真提供：茂木完治

登山靴で山行中にどうしても徒渉しなければいけない時に靴の上から靴下を穿く事で安全に渡れるそうだ。

次に複数で肩を組み、声を掛け合って徒渉してみる。1人だと流されてしまうのではないかと不安に思うが、とても安定して移動できる。皆で渡ると恐怖心も減るような気がする。次に対岸にロープをつけたハンマーを投げて岩に引っかけて支点にし、ロープを掴んで踏ん張りながら徒渉する。

昼食後にチロリアンブリッジをする。木にロープを張り、ロープにぶら下がり渡る。中間地点までは下のように進めるが、後半はやや傾斜があるので腕力と脚力で進む事になり自分の体重を支えるだけで大変だった。川の流れる速さ、川幅、水深、水量、川底の状態などを見な

がらどこを渡ったら安全かを見極める事も必要だと思いました。特にチロリアンブリッジは貴重な体験でした。

【コースタイム】

JR京都駅8:30～夫婦橋バス停9:28～講習～夫婦橋バス停14:32

【参加者】

茂木完治、豊田哲也、永井和、深澤優子、坂本明子 計5名

支部山行23-32 六甲山を歩く
「裏六甲の秘境を歩く」

山本義博

9月2日(土) 薄曇

熱中症対策をとりながらの山歩きを覚悟したが、当日は曇りでそれほど気温は高くならなかったのが助かった。

新神戸駅より少し歩いた広場で、準備体操後、数日前の大雨によりトゥエンティクロスは水量が多いと思われるのでコースの変更もあるとの説明があった。

布引の滝は確かに水量は多く、また普段は見られない五本松隠れ滝も綺麗な姿を見せていた。布引貯水池では、周囲の樹木の緑を鏡のように映し出していたのも満喫できた。市ヶ原の桜茶屋で小休止をとり、今日の最大の難関であるトゥエンティクロスに向かう。

川の水量はそれ程ではなく計画通りに進んだが、最初の徒渉場所はやはり水量が多いため苦勞しながらも無事徒渉出来たが、対岸に登山道がなく、下ってきた登山客の話から、少し上流を渡るべきと判断し引き返した。川岸を進むと徒渉場所が見つかり先ほどと同様苦勞したが、渡り終えると急ではあるがロープも張ってある登山道を登り、トゥエンティクロス道に戻ることが出来た。

昼食後は、かっぱ橋、徳川道の飛び石渡しなどを經由



森林植物園長谷池にて 写真提供：前田正彰

し、森林植物園の東門に到着した。徒渉に手間取ったので、この時点で今後のコースを検討し、森林植物園から山田道を下り、谷上駅へのコースに変更となった。

植物園内の長谷池では睡蓮の花がまだまだたくさん咲いており暑かった山歩きも癒やされた。山田道は良く整備され、徒渉でのアクシデントはあったものの溪流歩きなど秘境を堪能し、談笑しながら快調に下ることが出来、谷上駅に到着した。

【コースタイム】

新神戸駅9:28～市ヶ原櫻茶屋10:48～地獄谷出合11:16～あじさい広場12:21～二十渉砂防堰堤12:58～東門13:28～森林植物園長谷池14:01～山田道14:36～神鉄谷上駅15:35

【参加者】

松仲史朗、前田正彰、池尻英明、岩崎しのぶ、荻部聖子、山西和美、横山規江、野村 康、橋本圭之輔、宇都宮浩、山本義博 計11名

支部山行23-33 月例会(9月) 「金剛山ツツジオ谷からカトラ谷」

辻 和雄

9月16日(土) 晴

金剛山には多くの山道があるが、今回は私が最も好きな2つの谷道を歩くので、久方ぶりに支部山行に参加する。ツツジオ谷もカトラ谷も以前から台風の影響が心配されたが、特にカトラ谷は荒廃していた。



山頂広場にて 写真提供：野村 康

出発は、金剛登山口で、近年「モンベルの店舗」が設置されている。黒梅谷道から、タカハタ道に入り、対岸に腰折滝を見て少し進んだ所で、ツツジオ谷に入る。間もなく、先行の若者集団について行ったために、尾根に入り込み、元のツツジオ谷沿いの谷道に戻るのに一苦労する。おかげで、冬季に凍結する二の滝を見る事ができなかった。

しばらくすると道は谷から離れ、タカハタ道への分岐に差掛かる。急登を登るとタカハタ道と合流し、一服してから山頂広場へ向かう。

山頂広場では、名物の1時間毎の写真撮影に納まる。有名な山行回数板が掲示され、回数登山が盛んだ。毎日の仕事前や帰宅時に登る人もいて、登頂1万回以上を誇る猛者もいる。

昼食・トイレ休憩後、お花畑で有名なカトラ谷に向かう。4～5月には、ニリンソウ・クリンソウ・ヤマシャクヤク等の花々が群落する夢のような場所である。台風による崩落を心配していたが、この場所は無事で安堵したが、それより下は、道が崩落・寸断され、一般道とは言い難い状況だった。6年前よりも酷くなっており、ハイカーには厳しい道となっているが、関西支部の皆さんには、ぜひ訪れて頂きたい場所だ。

【コースタイム】

登山口駐車場9:20～タカハタ道9:27～ツツジオ谷9:42～12:10山頂広場13:05～カトラ谷～林道出合14:20～登山口駐車場14:45

【参加者】

井川浩彰、永井 和、辻 和雄、野村 康、宇都宮 浩

計5名

支部山行23-34 沢登り例会 「大峰山脈：上多古川上谷」

中久保忠伸

9月18日(月)

上谷は、上流で地蔵谷と地獄谷に分かれ、いずれも山上ヶ岳の東にある阿弥陀ヶ森とそこから派生する尾根を源流とする谷である。上多古川支流では最大と言われているが、上谷集落へ続く車道と谷沿いの林道があり実質は他の谷と大差はない。



上多古川呼滝にて 写真提供：中久保忠伸

駐車場で準備体操をして上谷右岸の林道を進む。林道終点の先にある小さな鉄橋を渡り左岸沿いの杣道を進むと道が不明となったので入谷する。いくつかの滝や大きな岩の隙間を進む。左岸には、先ほどの杣道が見え隠れする。二つめの鉄橋が見えるところから左岸杣道に上がり橋の下から再入谷すると、谷全体を覆うようにして広い滝がかかり美しい谷である。フリクションもよく効いており、全員フリーで楽しく進む。いくつかの滝を越えながら進むとやがて3段20mの滝に行き当たり、寺田トップで登り全員を引き上げる。その上の滑滝と岩の下(通称胎内潜り)を抜けると正面に牛呼滝が姿を現した。ここで、昼食をとりながらすごして、先ほどの胎内潜りまで戻り右岸にある杣道へ登り返して下山する。

【コースタイム】

駐車場8:00～林道終点8:30～鉄橋8:40～3段20m10:30～牛呼滝11:30～杣道12:30～駐車場13:30

【参加者】

井川浩彰、石田美和、上森文子、坂本明子、柴田 浩、柴田桂子、立野里織、豊田哲也、寺田昭弘、中久保忠伸
計10名

2. クライミング・雪稜シリーズ

支部山行23-23 アルパインクライミング
「北アルプス龍王岳東尾根」

上森文子

7月21日(金) 晴

天気都合で21日昼に大阪を出発。18:30に立山自然休暇村キャンプ場到着。

7月22日(土) 晴時々曇

ケーブル、バスを乗り継ぎ室堂へ到着。立山雄山へ上がるたくさんの登山者を横目に東稜へ向かう登山道を下り雪渓を越えると、目の前にこれから登る龍王岳が青空の中にそびえ立つ。30mロープでお互いを繋ぎタイトロープで行動する。核心部は取付との事でお互いの動きを意識し、落石に注意しながら慎重に登った。下山後は室堂を散策し花畑を満喫。

7月23日(日) 曇時々晴

夜半の雨のためスタートを1時間遅らせる。前日と異なり50mダブルロープで、より難しいルートに挑戦する。自分が空中に浮いている感覚で高度感がすごい。カム、ナッツの扱い方、ロープの流れ、ビレイの方法、支点構

築、バックアップの取り方などクライミングに関する様々な事を指導して頂き、充実した3日間だった。一つ一つ勉強と練習を重ねて上達したい。やっぱりクライミング大好きだ。



ダブルロープでの登攀 写真提供：江村俊也

【コースタイム】

22日 室堂山荘9:40～一の越10:25～東稜取付10:54～龍王岳13:36～浄土山14:04～室堂山荘15:01

23日 室堂山荘6:08～一の越7:13～東稜取付7:46～龍王岳13:12～一の越～室堂山荘13:57

【参加者】

江村俊也、吉村恵利、上森文子
計3名

23-37 クライミング 9月28日

江村俊也

活動場所：ディーボルダリングプラスリード なんばビレイ練習を中心に行った。

【参加者】

竹中雅幸、深澤優子、上森文子、吉村恵利、江村俊也
計5名

3. 関西のアルプス踏査

23-19関西のアルプス踏査
「兵庫北アルプスⅠ(日名倉山～駒ノ尾)」

深澤優子

7月10日(日) 曇

美作アルプスと呼ばれる日名倉山、後山、船木山、鍋ヶ谷山、駒の尾山を歩いた。

JR高槻駅で豊田氏の車で、新名神を経て志引峠に着した。林道を登り、8合目のベルピュール自然公園に着く。笹の茂る道を登ると汗が噴き出してくる。小1時

間ほどで日名倉山に到着。山頂には小さな祠があり、一等三角点もあった。「美作富士」と呼ばれ、山頂からは播磨灘、小豆島が眺望できるらしい。昼食後一の丸、二の丸、三の丸という標識と地図の県境に従って下ると奥海越に出た。再度日名倉山に登り返し、山頂より北の志引峠に降りた。車で後山キャンプ場へ移動してテントを張



兵庫御嶽（後山）にて 写真提供：重廣恒夫

った。

7月11日(月)曇

4時起床。登山口より船木山を目指す。急登、岩場、九十九折のある登山道を約300m登る。雨は降っていないが、蒸し暑かった。汗をかきかき、船木山の三角点に到着。休憩後、稜線を進んで、後山の頂上を目指す。岡山県の最高峰で、西の大峰山(道仙寺)の後ろにあるのでこの名がついたといわれている。「氷ノ山後山国定公園板馬見山」と看板がある。山頂にて、再び船木山を通り鍋ヶ谷山、駒の尾山まで中国自然歩道を歩く。標高1000mを越えた登山道であり、心地良い風が吹くが、残念ながら視界はない。駒の尾山頂上手前にある、駒の尾避難小屋で休憩した。駒の尾山頂の標識の周りには石が円形に並べられていて少し不思議な空間だ。小屋まで戻り、「駒②」の標識から始まり、「駒①」の駒の尾山登山口まで下ると車道に出た。車道を歩き、キャンプ場に到着。

あいにくの天候だったが、雨に降られることもなく歩くことができた。

【コースタイム】

10日 志引峠11:04～日名倉山登山口11:53～日名倉山13:18～奥海越14:00～志引峠16:27～16:38 (車)後山キャンプ場

11日 後山キャンプ場5:35～船木山登山口5:41～船木山8:18～後山8:51～船木山9:36～鍋ヶ谷山10:15～駒の尾山11:13～船木山登山口12:59～後山キャンプ場

【参加者】

重廣恒夫、豊田哲也、中村三佳、野村 康、深澤優子

計5名

支部山行23-27 関西のアルプス踏査 「兵庫アルプスⅡ(三室山、赤谷山)」

永井 和

8月7日(月)曇

「兵庫アルプス」の名付け親の加藤文太郎は三室山を兵庫乗鞍、赤谷山を兵庫焼とした。ともに宍粟市の奥の県境尾根上にあり、京阪神からは遠い。高槻から豊田さんの車で中国縦貫道路を西へ。山崎インターから千種町をめざす。三室山登山口には10時30分頃到着。幕営装備を車に置いて出発する。最初沢沿いに進み、頂上から南西に延びる尾根に乗って頂上に向かう。樹林の中の登山道はよく踏まれているが、頂上手前は笹をかきわけながら進まねばならない。頂上からは大通峠に下り、三室山登山口に戻った。車で戸倉峠に向かい、旧戸倉トンネルの入口手前でテントを張った。



三室山手前の藪をかき分けて 写真提供：重廣恒夫

8月8日(火)曇

翌日は暑くならないうちにと早朝に出発。戸倉峠の手前の登山口から入って、県境尾根を南に下り、赤谷山を往復した。途中で見たブナの林はみごとだった。

雨を覚悟して出発したが、幸い2日とも降られずにすんだ。台風6号の影響で風が強く、暑さを感じることもなく、快適な登山を楽しむことができた。

【コースタイム】

7日 三室山登山口10:45～三室山13:50～大通峠15:13～16:16三室山登山口

8日 テントサイト5:50～戸倉峠登山口6:17～赤谷山8:10～登山口9:05～9:35テントサイト

【参加者】

重廣恒夫、豊田哲也、深澤優子、永井 和 計4名

4. 山岳古道調査

23-31関西のアルプス踏査 「兵庫北アルプスⅢ(氷ノ山～三の丸)」

豊田哲也

支部山行23-18 第27回山岳古道調査 「吉野道」芋峠越

永井 和

9月19日(火) 曇後雨

ふれあいの里から登山口にかけては秋の風情。赤や白のゲンノショウコ、ミゾソバ、萩、ツリフネソウ、オタカラコウ等が目を楽しませてくれる。氷ノ越の道は昔からの伊勢道。因幡より但馬へ抜ける旧街道で石畳も残る。大江の元伊勢皇大神宮へのお伊勢参りに利用されていた。氷ノ越には避難小屋。お地藏さんが男根型の石に刻まれており旅人の安全を守る道祖神の様だ。東へ5分程下ると水場があり、泊まるに適した峠だ。ここから緩やかな縦走で氷ノ山山頂へ到着。今日は山頂避難小屋泊まり。小屋に入り重廣氏持参の缶ビールで乾杯した。

9月20日(水) 雨

夜中、強い風雨があったが、翌朝は霧につつまれて出発。ナナカマドの赤い実が目についた。少し雨が強くなり雨具を付けたが程なく霧雨に変わり三ノ丸に到着。宍粟50名山の一つで、昔は藪に覆われ訪れる人も稀だったとのこと。私の日本の山1254山目とする。急な下りはスキー場へと続き、ススキの草原の中を駐車場へ向かう。戻る道すがら、ヤマホトトギス、オミナエシ、ツルボ、アケボノソウ等の花々を楽しんだ。

【コースタイム】

19日 ふれあいの里駐車場11:25~13:08氷ノ越~15:08氷ノ山避難小屋

20日 小屋06:08~07:14三ノ丸~09:55駐車場

【参加者】

重廣恒夫、豊田哲也、永井 和、野村 康 計4名



氷ノ山山頂 写真：豊田哲也

7月8日(土) 曇

飛鳥岡寺と吉野上市を結ぶ芋峠越は、現在そのほとんどが県道15号線に置き換わっているが、栢森の奥の小峠入口から芋ヶ峠までと峠の吉野町側の一部区間には、まだ古道が残っていて歩くことができる。この古道は大和国中と吉野を結ぶ主要ルートのひとつで、米などを積んだ荷車の往来が頻繁だったためか、巾の広い、比較的傾斜の緩やかなアップダウンの少ない歩きやすい道であった。



行者像にて 写真：永井 和

石舞台バス停を出発し、祝戸の史跡公園に寄ったあと県道15号線に出て、稲淵の棚田をながめながら進み、男綱のところで旧道に入る。竜福寺で休憩し、栢森に向かう。途中立ち寄った飛鳥川上坐宇須多岐比売神社の192段の階段がたいへんだった。

女綱をみて栢森に入り、加夜奈留美命神社で休憩したあと、入谷に向かう林道を行くと「小峠入口」の道標があり、ここから古道区間となる。小峠を越えると、県道15号線に交差する場所に役行者像が祀られており、そこからまた山道に入り、ゆるやかに峠に向かって登っていく。峠からまた県道歩きとなるが、「芋峠古道」の道標で県道を離れ、谷に向かって下る。古道と思われる巾の広い道が続き、沢に降り立つと舗装林道となる。林道が県道に合流する地点に千股せせらぎ公園があり、そのまま千股川ぞいに南下して上市に向かった。

【コースタイム】

石舞台バス停9:16~男綱9:51~竜福寺10:25~女綱11:02~

小峠入口11:48～行者像13:00～芋ヶ峠13:40～千股せせらぎ公園14:45～大和上市駅15:46

【参加者】

岩崎しのぶ、宇都宮浩、薦田佳一、中川委紀子、永井和、野村康、福山茂光、松仲史朗、水谷透、山西和美

計10名

支部山行23-28 第28回山岳古道調査 「吉野道・細峠越」

荻部聖子

8月26日(土) 晴

桜井駅からタクシーに分乗し、旧鹿路トンネル入口に向かう。右手の登山道に入り約20分で細峠に到着。芭蕉の句碑「雲雀より空にやすらふ峠哉」を目にする。貞享5(1689)年に多武峰を經由して吉野の花見に赴いた際に詠まれた句である。細峠よりP725を越え、その北のコルへ向かう。ここにも峠道が残っているのを確認して細峠に戻り、廃村細峠村跡に下る。村跡では石の流し台等の家屋の痕跡や石垣等を確認し、人々の暮らしぶりに思いを馳せることが出来た。

村跡から県道37号線の旧道に下り、三津集落への分岐から細峠作業道に入る。途中から道のない尾根を登り、三津集落からの別の作業道に合流する。メンバーの一部がこの作業道を調査している間、他はP725北のコルにて待機した。

その後旧鹿路トンネル入口まで下り、談山神社へと向かう。途中「ろくろかめ石」や「右よしのりう門」と記された道標を目にする。予定を変更して、不動延命の滝、破不動尊にむかう。苔むした巨石に不動明王が彫られており、巨石が中央部で両断されているので、この名がついた。不動滝バス停より桜井駅に向かい帰路に着く。

【コースタイム】



細峠にて 写真提供：永井和

旧鹿路トンネル9:38～細峠10:12～P725北のコル10:28～廃村細峠村11:07～三津集落入口12:30～旧鹿路トンネル14:17～破れ不動15:23～不動滝バス停15:28

【参加者】

永井和、野村康、新本政子、水谷透、岩崎しのぶ、薦田佳一、松仲史朗、中川委紀子、深澤優子、福山茂光、宇都宮浩、山西和美、荻部聖子

計13名

支部山行23-35 第29回山岳古道調査 「因幡交流鉄の道」江浪峠

山内幸子

9月23日(土) 晴

宍粟市の千種地域はかつて全国屈指の鉄生産地であり、たたら製鉄に必須である木炭の大量供給地が因幡の若桜地方だった。両者を結ぶ江浪峠を越えて木炭や米を積んだ馬や牛が頻繁に行き交っていた。

千種町で前泊し宍粟50名山ガイドクラブの高科氏にワゴン車で天見屋たたら里学習館迄送ってもらい、天見屋川に沿ってミツマタの多い道を歩き始める。たたら場跡や時には両側に石積みの残る道を歩き、徒渉を繰り返しながら登っていく。山陰地方の砂鉄の採集方法であったかんな(鉄穴)流し場跡も見ることができ、苔むした古い橋や水量が少なくなった川を何度か越しながら源流に出る。千種川支流天見屋川源流のモニュメントを確認してから稜線に出たところが江浪峠であった。お地藏さまが立ち三国平1128mへの分岐でもある。

昼食後、江浪谷川に沿って吉川まで下っていく。源流は道がぬかるんでおり歩きにくい、杉木立になると道がよくなり歩き易くなる。牛や馬がよく通ったので結構広い道である。一部急斜面のトラバースもあったが、つづら折れの道を過ぎ、1時間余り下り林道を横切って吉川登山口に出た。

24日は大通峠越えの予定であったが体調不良者が出たので12月の智頭往来志戸坂峠・釜坂峠の下見に変更した。

お世話になった宍粟50名山ガイドクラブの高科氏・梶本氏、姫路在住の須磨岡氏、ガソリン付きで車を提供して下さいました。宍粟森林王国観光協会の皆様ありがとうございました。

【コースタイム】

天見屋登山口8:26～峰越峠分岐10:18～水源碑11:40～江浪峠11:50～三国平12:25～吉川登山口14:25～吉川入口15:10

【参加者】



江浪峠にて 写真提供：永井 和

永井 和、野村 康、岩崎しのぶ、中川委紀子、深澤優子、宇都宮浩、久保和恵、荻部聖子、山内幸子 計9名

5. ヒマラヤ登山塾

23-25 第16回ヒマラヤ登山塾

「グレート・ヒマラヤ・トラバース実施の背景」

重廣恒夫

7月30日(日) 於：大阪梅田第2ビルB4

1936(昭和11)年、堀田弥一が率いる立教大学隊は、ナンダ・コート峰(6867m)に登頂し、我が国初のヒマラヤ登山の扉を開いた。その成果は、第二次世界大戦という大きな断絶の時代を経て、日本山岳会に継承され、1956年のマナスル初登頂に繋がった。

昨今、世界では、「持続可能な開発目標(SDGs)」に見られるように、地球環境を犠牲にしても経済発展を追い求めるという時代は終焉した。日本は、少子高齢化と人口減社会に直面している。「グレート・ヒマラヤ・トラバース」は温故知新の旅、すなわち、先人達の夢足跡を辿り、100年余を経て大きく変化した、ヒマラヤの自然と人々の生活の変化を検証する山旅である。

ヒマラヤ登山塾では、自身の12回のヒマラヤ高峰登山の報告を、当時の時代背景と世界のヒマラヤ登山の実際について解説してきたが、ヒマラヤ登山の始まりからの解説が必要と考え、1977(昭和52)年刊行の『朝日小辞典ヒマラヤ』を教科書にして、アッサム・ヒマラヤからヒンズー・クシュまでの山群の探検と登山の歴史について解説した。

また、これまでの日本山岳界のヒマラヤ登山の歴史を深耕するために、『ヒマラヤ日本人の記録』と『ネパール・

ヒマラヤ探検記録』の紹介をおこなった。

【参加者】

新本政子、池尻英明、賀集 信、薦田佳一、助川 征、竹中雅幸、辻 和雄、永井 和、中川委紀子、中村三佳、野村珠生、野村 康、橋本圭之輔、深澤優子(以上関西支部)、中谷康司、松尾みどり(以上本部)、余島精一(無所属)、四方寛之、西岡睦子(元登山教室) 計19名

23-29 第17回ヒマラヤ登山塾

「第4回グレート・ヒマラヤ・トラバース研究」

重廣恒夫

8月27日(日) 於：大阪梅田第2ビルB4

グレート・ヒマラヤ・トラバースも4回目を迎え、ガネッシュ山群～マナスル山群～アンナプルナ山群と、人類最初の8000m峰の初登頂となったアンナプルナ、日本人最初の8000m峰初登頂となったマナスルなど、中央ネパールの踏査となる。今回の踏査の概要を計画書と、行程表(10月7日成田出発、11月25日帰国予定)を用いて展望地などの説明をおこなった。併せて踏査をサポートするネパール人スタッフの雇用費・装備費・保険料などに加えて、宿泊料や交通費、食料や燃料などのネパール国内の経費、航空券や山岳保険などの国内費について、詳細を説明するとともに、1952年から2023年までの円・ドル・ネパールルピーのレート変動と、昨今の急激な円安が踏査隊に与える影響について解説した。

1956年の日本山岳会によるマナスル(8163m)初登頂については、1952～1953年報告書、また1954～1956年の報告書の概要を説明した。踏査計画を作成する中で、1956年の初登頂をした今西壽雄さんが1953年にマナスル偵察隊の一員として訪れた、マナスル西方のナムン峠(Namun Bhanjyang)5560mの位置と標高が間違っているとの情報があり、今回その真偽を確かめる予定である。

また、事前に「マナスル登頂には、京大の白頭山厳冬期登頂、南極探検などの極地法の経験が生かされたのか」という質問には、マナスルには生かされたが、南極探検には登山の経験が大きく寄与したことを解説した。事前質問は大歓迎である。

【参加者】

新本政子、池尻英明、岡田輝子、賀集 信、後藤健治、薦田佳一、永井 和、中村三佳、野村珠生、野村 康、橋本圭之輔、深澤優子、吉井 修(以上関西支部)、中谷康司(以上本部)、四方寛之、西岡睦子(元登山教室)、味岡四郎(GHT3rd参加者) 計17名

23-36 第18回ヒマラヤ登山塾
「マナスル登山の歴史と地域研究」

重廣恒夫

9月24日(日)15:00~17:00

(第36回全国支部懇談会のため中止)

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、石田美和、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、黒山泰弘、武田壽夫、寺田昭弘、当山清之、中川義行、宮本 廣、(体験)金山登陽、平 真美

計13名

6. 自然保護報告

令和5年7~9月
「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫

◆日時：7月6日(木)9:30~15:00

活動エリア：44林班は-01

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：石田美和、斧田一陽、菊山美紀子、倉谷邦雄、黒山泰弘 (AM)、武田壽夫、竹歳美紀子、寺田昭弘、当山清之、春名浩一 計10名

◆日時：7月16日(日)9:30~15:00

活動エリア：44林班は-01

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：石田美和、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、寺田昭弘、中川義行、宮本 廣、山本國夫

計9名

◆日時：8月3日(木)9:30~14:30

活動エリア：44林班い

◆日時：8月20日(日)9:30~14:30

活動エリア：44林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、斧田一陽、菊山美紀子、工藤貴士、黒山泰弘、武田壽夫、中川義行、宮本 廣、山本國夫

計9名

◆日時：9月7日(木)9:30~14:30

活動エリア：44林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、石田美和、斧田一陽、菊山美紀子、黒山泰弘、平 真美、武田壽夫、寺田昭弘、当山清之、春名浩一、中川義行、宮本 廣、(体験)、原 剛史

計13名

◆日時：9月17日(日)9:30~15:30

活動エリア：44林班い

活動内容：A-1 地域環境保全タイプ（里山林保全;倒木処理、林床整備）

参加者：猪川 誠、斧田一陽、工藤貴士、黒山泰弘、武田壽夫、田畑宏司、中村賢三、春名浩一、宮本 一

計9名

山行ひろば案内

ひろばに気楽に集まり交流と親睦を
深めましょう。飲み物フリーです。

1月31日(水)

キナバル山登山報告 岡谷雄一郎

23年5月にボルネオ島のキナバル山に登っているので、報告してもらいます。

3月27日(水)

六甲山全溪谷約200本の踏査について 茂木完治

場所：ルーム(ズームによる参加可)

時間：19:00~21:00

令和5年7~9月
東お多福山ススキ草原復元活動
(東お多福山草原保全・再生研究会活動)

田島聖子

◆日時：7月15日(土)

活動内容：午前中は前回刈り残した眺望点から登山道までのササ刈り、昼食をはさんで午後から集積

参加者：桐村登美枝、田島聖子

計2名

◆日時：9月27日(水)

活動内容：刈り払い機と手刈りにより、眺望点から登

山道までの前回刈り残したササ刈りと集積。眺望点西側のササ刈りと集積。

参加者：斧田一陽、桐村登美枝、田島聖子、菊山美紀子 計4名

活動内容：早春の全面刈り払い作業

集合：JR芦屋駅南口 8時30分

10～12月 活動予定

◆**本山寺山森林づくりの会**

活動日（*は臨時）：1/3(水)・11(木*)・21(日)、2/1(木)・11(日*)・18(日)、3/7(木)・17(日)

集合：JR高槻駅北側アルプラザ前 8時40分

◆**東お多福山ススキ草原復元活動（東お多福山草原保全再生研究会活動）**

活動日：2024(令和6)年3月16日(土)

◆**自然観察会 甲子園浜のカモの観察**

日時：2024(令和6)年1月19日(金)10～12時

集合：阪神甲子園駅 10時

持ち物：あれば双眼鏡

備考：雨天中止(参加者には前日に連絡)、観察地まではタクシーで移動予定

斧田一陽(全般) ☎/FAX 072-633-6556、090-4037-4542

武田壽夫(本山寺山の森) ☎090-2042-9101

田島聖子(東おたふく山) ☎078-411-3837

河野直子(カモの観察) ☎090-6960-9998 yamaboushi2352@gmail.com

締切：開催日の1週間前まで

◎**スケッチ同好会**◎

【報告】

第54回 スケッチ同好会 合宿

日時：5月8日(月)～5月10日(水)

行先：八が岳山麓(清里、野辺山高原)

参加者：岩崎しのぶ、浦上芳啓、岡田輝子、金井良碩、久保和恵、河野直子、薦田佳一、高木知子、田頭夏子、宮野章、森沢義信、横山規江 計12名



清里 宮野章 画

知子、田頭夏子、野村哲夫、播戸日出生、松上美代子、横山規江 計14名

第56回 須磨浦公園

日時：9月25日(月)

参加者：岩崎しのぶ、金井良碩、荻部聖子、久保和恵、河野直子、高木知子、田頭夏子、播戸日出生、宮野章、横山規江 計10名



須磨浦公園 播戸日出生 画

第6回 スケッチ同好会グループ展

日時：6月6日(火)～6月9日(金)

会場：大阪駅前第2ビル 5F大阪市立生涯学習センター

出展者：岩崎しのぶ、浦上芳啓、岡田輝子、金井良碩、久保和恵、薦田佳一、嶋岡章、高木知子、田頭夏子、野村哲夫、播戸日出生、福山茂光、松上美代子、宮野章、森沢義信、横山規江 計16名



【案内】

第58回 座学(心斎橋大丸前 宇治園ビル3F「bistro ヴェール」)

日時：2024年1月15日(月)

集合：現地 午後12：30

申込：久保和恵 12月20日まで

TEL 090-2598-9226

uncletorys05-kazu@nifty.com

(詳細は参加申込者に後日連絡)

第55回 三宮東遊園地

日時：7月10日(月)

参加者：岩崎しのぶ、浦上芳啓、大塚和子、岡田輝子、荻部聖子、久保和恵、薦田佳一、嶋岡章、高木



三宮東遊園地 薦田佳一 画

第59回 大阪城梅林園

日時：2024年3月4日(月)

集合：大阪ビジネスパーク駅 10：00

申込：高木知子 2月25日まで

tttakagi777t@gmail.com

備考：雨天中止(参加者には前日に連絡)

2024年1月～3月 山行委員会行事案内

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

23-53 第18回 ヒマラヤ塾(講演会)

「GHT4th詳報=今西壽雄の立ったナムン峠」

日 時：12月24日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4

申込み：12月17日迄(担当：重廣恒夫)

(お詫び)193号で記載漏れをしてしまいました

日 時：1月21日(日)南海高野線河内長野駅バスター
ミナル8:50集合

コース：滝畑ダムバス停10:00～荒滝～御光滝～バー
ベキュー場～滝畑ダムバス停

申込み：1月14日迄(担当：茂木完治)

23-54 六甲山全溪谷踏査

「葶谷(おがわ)右俣」

日 時：1月6日(土)新神戸駅1F地下鉄口9:00集合

コース：法徳寺～葶谷右俣～555m峰～新神戸駅

申込み：12月25日迄(担当：茂木完治)

23-58 関西のアルプス踏査

「気比アルプス」

日 時：1月22日(月)

申込み：1月12日迄(担当：重廣恒夫)

詳細は担当者に問い合わせください

23-55 青春ハチマル 関西の巨樹巡り

「大阪最大の薫蓋樟と大阪市最高峰・鶴見新山」

日 時：1月11日(木)京阪古川橋駅改札前9:00集合

コース：三島神社薫蓋樟～稗島大楠～鶴見新山～阿
遅速雄神社大楠～白山神社公孫樹～JR森ノ宮駅

申込み：1月4日迄(担当：茂木完治、申込は岡田輝
子)

23-59 クライミング初級

日 時：1月25日(木)

申込み：1月18日迄(担当：江村俊也)

詳細は担当者に問い合わせください

23-56 第33回山岳古道調査

「高野山 京・大坂道」

日 時：1月20日(土)南海高野線学文路駅9:25集合

コース：駅～千石橋～極楽橋～不動坂分岐～女人堂～
高野山駅

申込み：1月10日迄(担当：永井 和)

23-60 ファーストエイド講習会

「人命救助体験談」

日 時：1月27日(土)14:30

場 所：関西支部ルーム

申込み：1月20日迄(担当：江村俊也)

23-61 第19回ヒマラヤ登山塾(講演会)

「ヒマラヤ登山における高所順応とは」

日 時：1月28日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4

申込み：1月18日迄(担当：重廣恒夫)

23-57 例会(1月)新人歓迎会

「滝畑48滝巡りとすき焼き交歓会」

23-62 六甲山全溪谷踏査

「高取山アチ口 谷(仮称)」

日 時：1月30日(火)新長田駅9:15集合
 コース：神戸市バス口ノ川バス停～アチ口谷～高取山
 ～板宿駅

申込み：1月23日迄(担当：茂木完治)

23-63 救命講習会

大阪消防局のご協力を得て開催します

日 時：2月4日(日) 13:30～16:30

受 付：13:00より

場所：セルロイド会館3F大会議室

申込み：1月25日迄(担当：深澤優子)

23-64 六甲山全溪谷踏査

「鍋蓋山極楽谷左俣」

日 時：2月11日(日)JR神戸駅南口9:15集合

コース：阪急高座金清橋バス停～極楽谷本流～左俣～
 鍋蓋山～大龍寺～市ヶ原～新神戸駅

申込み：2月4日迄(担当：茂木完治)

23-65 第34回山岳古道調査

「高野山への表参道 町石道」

日 時：2月17日(土)南海高野線橋本駅8:20集合

コース：橋本駅～(タクシー)～慈尊院～六本杉～古峠

～笠木峠～矢立～大門～高野山駅

申込み：2月10日迄(担当：永井 和)

23-66 第20回ヒマラヤ登山塾(講演会)

「ヒマラヤ登山におけるタクティクスとは」

日 時：2月18日(日)15:00～17:00

場 所：大阪梅田第2ビルB4

申込み：2月8日迄(担当：重廣恒夫)

23-67 六甲山全溪谷踏査

「東山中尾谷と青谷川右岸支流」

日 時：2月20日(火)新神戸駅1F地下鉄口9:00集合

コース：歓喜寺～中尾谷～東山～青谷川右岸支流～青
 谷右岸支流～ピーク555m～新神戸駅

申込み：2月13日迄(担当：茂木完治)

23-68 雪山トレッキング

「上高地スノートレッキング」

日 時：2月23日(金)～24日(土)

申込み：2月9日(担当：江村俊也)

詳細は担当者に問い合わせください

23-69 月例会(2月)

「北摂の山・初谷溪谷と天台山古道を巡る」

—関西支部設立90周年記念事業 海外登山—
台湾の沢登り

台湾には3000mを超える山が200余座あります。溪谷は大きく、沢登りするのに10日以上かかる谷もあります。日本人による戦後の台湾の沢登りは1963年の日本山岳会関西支部の老濃溪に始まりますが、その後台湾の岳人と協力しながら未踏の谷を開拓してきました。現在までの日本人による台湾の谷の記録は約100本に達しました。

今回は大きな谷ではありませんが、台湾岳人にも愛される2つの谷を沢登りします。1つは台北を流れる淡水河の上流にある三光溪を1泊2日で遡行し、もう一つは台湾最高峰・玉山3962mに近い所にある雙龍溪を麓の山地民の村の民宿に泊まって日帰りを楽しみます。三光溪は水の多い泳ぐ谷で、雙龍溪は明るく滝の続く谷です。合せて台湾の神木公園で台湾の素晴らしい巨樹林を探勝したり、台湾岳人との交流をすることで今後の若い人たちにつなげたいと思います。

【期 間】2024年4月29日(月)～5月5日(日)

【コ ー ス】1日目：大阪～台北 2日目：台北～達
 観山神木公園～巴陵 3日目：三光溪
 (泊) 4日目：三光溪～終了後雙龍村

(泊) 5日目：雙龍溪～終了後台北 6
 日目：台北近郊の観音山登山 7日目：
 帰国

【対 象 者】沢登り経験者(登山教室で上級終了レベル以上)

【予 算】20万円

【申 込】担当・茂木完治

【申込期限】24年1月末まで(先着8名まで)



三光溪を渡る 写真提供：茂木完治

日 時：2月25日(日)能勢電妙見口駅10:00集合
 コース：妙見口駅～妙見山～光明山～天台山
 ～法輪寺～古道を経て平野バス停
 申込み：2月16日迄(担当：野村 康)

23-70 関西のアルプス踏査

「浦富アルプス」

日 時：2月26日(月)
 申込み：2月19日迄(担当：重廣恒夫)
 詳細は担当者に問い合わせください

23-71 雪山に泊まる

「神戸大ヒュッテ泊冬の氷ノ山」

日 時：3月2(土)～3日(日)
 コース：東尾根登山口～千本杉ヒュッテ(泊)～氷ノ山
 ～ハチ高原(スキー ワカン スノーシュー
 可)

申込み：2月23日迄(担当：小黑節郎)

23-72 青春ハチマル 関西の巨樹巡り

「和東の茶畑と京都最大の巨樹を巡る」

日 時：3月7日(木)JR加茂駅西口10:00集合
 コース：和東中学校バス停～八坂神社祇園杉～福常寺
 大檜～六所神社大杉～JR大河原駅

申込み：2月29日迄(担当：茂木完治、申込は岡田輝子)

23-73 六甲山を歩く

「リベンジ石楠花山」

日 時：3月9日(土)神鉄花山駅9:30集合
 コース：花山駅～炭ヶ谷～石楠花山～黄蓮谷～桜谷道
 ～摩耶山～山寺尾根～阪急六甲駅
 申込み：3月4日迄(担当：松仲史郎)

23-74 第35回山岳古道調査

「上北山尾鷲古道 アゲグチ峠道」

日 時：3月15日(金)～17日(日)
 コース：東ノ川から台高山脈最南部の稜線を越えて尾
 鷲に出る峠道を歩きます。テント泊。
 申込み：3月6日迄(担当：永井 和)
 詳細は担当者に問い合わせください

23-75 関西のアルプス踏査

「裏六甲アルプス」

日 時：3月18日(月)
 申込み：3月8日迄(担当：重廣恒夫)
 詳細は担当者に問い合わせください

23-76 六甲山全溪谷踏査

「天神谷と北野谷」

日 時：3月19日(火)阪急神戸三宮駅東口9:30集合
 コース：風見鶏の館～天神谷～堂徳山～城山～北野谷
 (下降)～北野天神
 申込み：3月12日迄(担当：茂木完治)

23-77 道迷い講習会

「青山先生の地図読み磁石術を学ぼう」

日 時：3月30日(土)
 コース：JR福知山線道場駅周辺
 申込み：3月23日迄(担当：茂木完治)

23-78 第21回ヒマラヤ登山塾(講演会)

「GHT5thの行程研究」
 日 時：3月24日(日)15:00～17:00
 場 所：大阪梅田第2ビルB4
 申込み：3月14日迄(担当：重廣恒夫)

23-79 六甲山全溪谷踏査

「堂徳山三森谷と城山合ノ谷」
 日 時：3月26日(火)阪急神戸三宮駅東口9:30集合
 コース：北野町西公園～三森谷～堂徳山～城山～合ノ
 谷(下降)～新神戸駅
 申込み：3月17日迄(担当：茂木完治)

23-80 クライミング初級

日 時：3月28日(木)
 詳細は担当者に問い合わせください

熊野古道集中山行のご案内

日本山岳会では120周年記念事業のひとつとして山岳古道調査「日本山岳会が選ぶ山岳古道120選」を実施していますが、その一環として2024年5月に熊野古道集中登山を行います。5月18日午後3時に熊野本宮大斎原に集合し、勝浦のホテルで懇親会をもちます。詳しい内容はJACのホームページをご覧ください。以下のQRコードからアクセスできます。1月から参加者の募集がはじまります。



関西支部では2班にわかれて小辺路を歩きます。
 A班：5月15日～18日高野山から熊野本宮まで。
 B班：5月17日～18日十津川温泉に前泊し、果無峠を越えて熊野本宮にいたります
 A班は少人数に制限しますが、B班は支部会員とその家族であればどなたでも参加できます。
 詳しくは、来年3月の支部報でお知らせします。参加を希望される方は永井までご連絡ください。

申込み：3月21日迄(担当：江村俊也)

23-81 月例会(3月)

「岩湧山で春の花探し」

日時：3月31日(日)河内長野駅南海バス7番乗り場

8:15集合(8:30発滝畑ダム行きバスに乘車)

コース：夕月橋～ネバシ谷～岩湧山～根古峰～砥石谷～天見駅

申込み：3月24日迄(担当：上森文子)

ステップアップ登山教室 一般募集

(会員・準会員・会友も参加可能)

申込先:豊田哲也、中久保忠伸(2人で担当)

受講料：4か月で8,000円。座学受講時に徴収。

※詳細については関西支部ホームページをご覧ください。

- ・登山教室座学 12月16日(土)
- ・初級(登山に必要な知識・技術・体力養成)
 - 1月13日(土) 高照寺山～寺山～高畑山
 - 2月10日(土) 大谷山
 - 3月9日(土) 大船山
- ・中級(初歩の沢歩き、岩場の通過と登攀具の使用)
 - 1月20日(土) 金剛山ツツジ尾谷
 - 2月3日(土) 六甲・白石谷

3月2日(土) 摩耶別山・木袋谷

・上級(初歩の岩登り)

1月11日(木) 鈴鹿・綿向山

2月1日(木) 比良・堂満ルンゼ

3月7日(木) 比良・蓬莱山

※上記とは別に初歩(入門コース)を開設中

・入門コース(これから山登りを始めたい人向けの登山教室)

受講料：12月より4か月で8,000円

担当：重廣恒夫

12月3日(日) 座学

1月14日(日) 六甲山全山縦走Ⅰ

2月11日(日) 六甲山全山縦走Ⅱ

3月10日(日) 六甲山全山縦走Ⅲ

リーダー養成講習会

担当：重廣恒夫

12月17日(日) 座学「積雪期における登山装備と設営技術」「低体温症にならないために」

1月15日(月)・16日(火) 実技「積雪期Ⅰ」

2月12日(月)・13日(火) 実技「積雪期Ⅱ」

3月11日(月)・12日(火) 実技「積雪期Ⅲ」

申込み先一覧

- 上森文子 09088225321@docomo.ne.jp
- 江村俊也 tobi.osaka@mac.com
- 深澤優子 m-y.fuka@lilac.plala.or.jp
- 岡田輝子 smiler8823teruko@true.ocn.ne.jp
- 茂木完治 yib03510@nifty.com
- 野村 康 n0mura87.32@nifty.com
- 小黒節郎 setsuro.oguro@nifty.com
- 永井 和 nagai.kazu@gmail.com
- 松仲史郎 mgjqk966@ybb.ne.jp
- 重廣恒夫 tsuneo.shigehiro@outlook.com
- 関西支部 kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

90周年事業の海外登山
韓国の沢登り中止について

茂木完治

関西支部設立90周年記念事業の韓国沢登り(支部山行23-26)を8月11日～15日に予定していましたが、立て続けに来襲した台風6号、台風7号により中止を余儀なくされました。残念ですが天気によるものでありやむを得ませんでした。

まだ未定ですが、来年あるいは再来年にリベンジしたいと考えております。



特別
編集

冬の山

レベル別
雪山コースガイド

発売中

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

モンベルクラブ入会キャンペーン

岳人年間購読が
断然おトクに!

年間購読通常特典

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

さらに

モンベル
クラブ
会員さまには

モンベル
ポイント

5,000P プレゼント!

モンベルクラブ会員さまで、現在
年間購読中の方は、次回継続時に
5,000ポイントをプレゼントします。



価格:1,100円(税込)

年間購読のお申し込みはこちらから!>>>

<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ

モンベルポスト

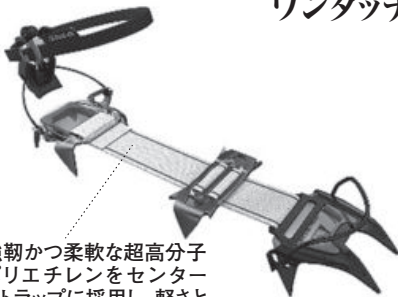


0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。



BLUE ICE わずか419g.超軽量の ワンタッチアイゼン



▲収納時もとてもコンパクト。

強靭かつ柔軟な超高分子
ポリエチレンをセンター
ストラップに採用し、軽さと
コンパクトさを実現。

ブルーアイス ハーファング

税込価格 ¥25,300

- 素 材: クロモリ(フロント)、アルミ(センター、リア)
- 重 量: 419g(左右ペア)
- 生産国: フランス
- 付属品: 収納袋
- 対応シューズ: 前後コバ付きの冬季用靴

輸入元: (株)ケンコー社 TEL: 06-6374-2788

※カタログをご希望の方は、弊社までご連絡くださいませ。



この1枚が、登山を変える。

DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索

〈編集後記〉

☆2023年も残り少なくなりました。いつもながらあっと言う間の一年でした。今年も、GHT 3rdに参加して肉眼でエベレストを仰ぎ見、5000m越えを体験しました。帰国後は、槍穂縦走で大キレットを楽しみました。ヒマラヤも北アルプスもお天気に恵まれ、世界と日本の大絶景を満喫でき、とても良い山旅ができた年でした。皆様にも、いろいろな山物語がおありになったことと思います。今年最後の支部報です。猛暑下での山行報告や来年はどの山行に参加しようかなとチェックしながら、どうぞよい年をお迎えくださいませ。(中村三佳)



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI PRIMUS

イワタニ・プリムス株式会社
www.iwatani-primus.co.jp

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-17

第194号 2023(令和5)年12月10日 発行

発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22

梅田東ビル 3階 304号室

公益社団法人 日本山岳会関西支部

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

郵便振替口座 00930-6-55950

発行者 水谷 透

編集 加藤芳樹 坂田洋子 中村三佳

制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28